

トヨタ自動車とダイハツ工業、新興国小型車カンパニー設置に着手

トヨタ自動車（株）（社長：豊田章男、以下、トヨタ）とダイハツ工業（株）（社長：三井正則、以下、ダイハツ）は、今後の新興国小型車事業の強化に向け、両社の役割分担を決定した。これに合わせて、2017年1月を目処に、新興国小型車担当のカンパニーの設置を進める。

設置の目的・概要は以下のとおり。

1. 目的

成長が見込まれる一方で、競争が激化する新興国市場において、ダイハツの良品廉価なモノづくりをベースとした競争力のある商品を展開する。

2. 概要

< 2社の役割分担 >

- ・新興国向けの小型車の開発・調達・生産準備を、基本、ダイハツに一本化し、ダイハツが進める新アーキテクチャー「DNGA」を展開。トヨタはこの推進を知見・リソースの面からサポートする。
- ・商品企画、事業企画は、トヨタとダイハツが一体となって策定・共有。
- ・生産については、両社の既存拠点を相互に有効活用していく。

< 新興国小型車カンパニー（構想） >

- ・新興国小型車を担当するトヨタ、ダイハツ両社から成るカンパニーを2017年1月目処に設置。
- ・新興国小型車の企画から生産準備までを担う。

トヨタでは2016年4月から、仕事の進め方変革を狙いとした、製品軸での「カンパニー制」を導入している。今回は、トヨタとダイハツの両社にまたがる形態とし、ダイハツがけん引するカンパニーとなることを想定しており、トヨタの従来のカンパニーと位置づけが異なるものとなる予定。

トヨタの寺師副社長は、「このカンパニーの設置を機に、トヨタはダイハツの競争力について根底から学び、自らの仕事のやり方を変えていく。」と語った。ダイハツの三井社長は、「軽で培ってきたノウハウをさらに発展させ、トヨタグループの軽自動車から新興国小型車までをダイハツが牽引する。このカンパニーをダイハツとしても大きな成長の機会と捉えている。なお、本件とは別に、ダイハツが主体となりダイハツブランドの発展にも引き続き取り組むことを、本日両社で確認した。」と語った。

今後も、両社は双方が培ってきた強みを最大限に発揮し、選択と集中を進めることで「もっといいクルマづくり」をグローバルに推進していく。

以 上